



# 丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

令和2年7月31日（金）No. 5

横浜市立丸山台小学校長 新井 篤志

## 新しい生活様式に向けて

校長 新井 篤志

学校が再開して2か月が経ちました。7月からは給食も始まり、通常の学校生活がスタートしました。子どもたちも学校生活に慣れてきました。しかし、今までとは同じ生活とは異なる様式を工夫して身につけていかねばなりません。

そんな中、子どもたちの新しい生活様式への取組がなされていて、新しい丸山台小学校の学校生活がつくられつつあります。朝の登校は、各家庭の協力のもとに登校時間に幅をもたせていただくことで、登校したときに子どもたちは自分の下駄箱のある扉ごとに間をあけて並んで昇降口に入ることが身についています。また、給食では、給食当番は体調の状態を確認したり、手洗いやマスク等の身支度を調べたりして給食を取りにいくことができます。給食の配膳や食べる時も静かにして行うことができるようになりました。さらに、高学年では、図工の作品づくりや理科の実験や観察を行うときには部屋を分かれて密な活動をさける学習活動が行えています。さらに外国語活動の先生からは、「一生懸命に子どもたちが挑戦して授業に臨んでいます」や、学校カウンセラーの先生からは、「子どもたちの生活の様子が大変落ち着いています」などの言葉をいただきました。

こうした子どもたちの様子を見ると、子どもたち自身がいろいろと考えて行動していることが分かります。新しい生活様式が叫ばれています。これから学校生活が進んでいくとさらに新しい生活様式を考えていかねばならないと考えます。子どもたちとともにつくっていきたいと思います。

8月は2週間ほどの夏休みが始まります。通常より短い夏休みですが、楽しく過ごしてほしいと思います。夏休み明けも今の学校生活を続けていきましょう。

